

ギカイだより

GIKAIDAYORI
contents

- | | |
|------------|-----|
| 決算審査速報 | 2~3 |
| 9月定例会の概要 | 4 |
| 一般質問 | 5~8 |
| 市議会防災訓練を実施 | 9 |
| 委員会レポート | 10 |
| 審議結果 | 11 |



上／「おさななじみ」坂出商業高等学校1年 清水 咲良さん 下／「祭りの合図」坂出商業高等学校2年 大中 陽さん

平成29年度 決算の審査速報

～皆さんのがどう使われたのか～



一般会計

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
230億3,379万円	227億7,264万円	2億6,115万円	1億7,410万円

特別会計(国民健康保険など9会計)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
163億1,774万円	159億3,604万円	3億8,170万円	3億3,287万円

企業会計(収益的収支の状況)

会計	収 益	費 用	損 益
病院事業	55億8,136万円	53億9,919万円	1億8,217万円
水道事業	13億1,071万円	11億8,015万円	1億3,056万円

(円未満を四捨五入)

一般会計実質収支額は1億7,410万円(前年度比76.2%減)の黒字となりました。また、国民健康保険特別会計は、5,893万円と、実質収支黒字となっています。

総務費

庁舎管理、財務、選挙、地方振興など市の全般的な管理に要する経費

32億6,063万円

民生費

児童・障がい者・高齢者福祉や生活保護などに要する経費

61億9,352万円

衛生費

健診や予防接種などの健康づくり、塵芥・し尿処理などに要する経費

24億1,745万円

農林水産業費

農業・水産業の振興、地籍調査などに要する経費

4億5,560万円

商工費

商工業の育成、観光振興などに要する経費

3億2,170万円

土木費

道路や橋梁、公園、公営住宅の維持管理や都市計画などに要する経費

12億5,525万円

港湾費

坂出港等の港湾及び漁港の維持管理などに要する経費

7億1,774万円

消防費

消防や風水害等の災害防除並びに災害発生時の活動に要する経費

8億3,262万円

教育費

幼・小・中学校の管理運営や生涯学習・スポーツ、文化財保護などに要する経費

20億1,935万円

特別委員会を設置して決算認定議案を集中審議!!

市議会では、決算審査特別委員会を設置して「予算が適正に使われているのか」「それぞれの予算を使って取り組んだ事業は期待通りの結果となっているのか」を審査します。

閉会中の継続審査として集中的に審査された決算認定議案は、12月定例会にて表決が行われる予定です。

【総務消防委員会関連】

Q 車を所有していない島民が島外から迎えに来た親族などの車に乗り、通院や買い物で島外へ出かける際に、島民が乗車していない1往復について通行料金の割引はない。問題解消のための関係機関等への働きかけは。

A これまでも本四高速への要望は行っています。高齢化の進展に伴い、新たな課題になっていると考えているので、今後も働きかけを続けていきます。

《委員の意見》

瀬戸大橋線（路線バス）の運行も含めて、関係者と協議しながら、島民の交通の利便性向上のためのさまざまな方策を検討してほしい。

【市民建設委員会関連】

Q 自治会加入促進補助金はどういった事業が補助対象となるのか。

A 補助対象となる事業は大きく4つに分類されます。

- ①自治会に加入していない住民を対象とした、自治会の活動内容、地域の魅力等の発信事業（加入促進のチラシ作成・配布など）
- ②自治会に加入していない住民との交流・協働事業（説明会・交流会の開催など）
- ③自治会が存在しない地域において、新たな自治会の設立に向けて取り組む事業（設立準備会の開催など）
- ④その他、自治会加入促進に貢献する事業（既加入者への啓発活動）

決算審査の日程

10月 1日(月)	総務消防委員会関連 (総務部・消防・水道事業含む)
10月 2日(火)	教育民生委員会関連 (健康福祉部)
10月 9日(火)	教育民生委員会関連 (教育委員会・市立病院)
10月10日(水)	市民建設委員会関連 (市民生活部)
10月15日(月)	市民建設委員会関連 (農業委員会・建設経済部)
11月12日(月)	総括・まとめ

【教育民生委員会関連】

Q 地震に限らず、さまざまな災害が各地で発生している。今後、災害用備蓄備品（救急セット・発電機・ヘッドライト等）の数量や品目を増やしていくような計画はあるのか。

A 災害時に坂出中学校と白峰中学校の2箇所を災害時救護所として設置する予定になっており、災害用備蓄備品等は、その救護所を開設するにあたり、最初に持っていくものとして、医師会の意見を参考に危機監理室とも相談し、数量や品目の追加等を決めています。災害時に使用すると不足していくますが、それは県等から追加で供給されることになっています。市の防災倉庫で保管できない、例えば注射液のようなものは、県が県内の医療機関に保管してもらっています。

将来的な課題として、現在は、高屋町の防災倉庫に備蓄しているため、白峰中学校には近いのですが、今後は坂出中学校にも妥当な保管場所を検討していかなければならぬと考えています。

【教育民生委員会関連】

Q 小児生活習慣病予防健診（血液検査）は、小学4年生を対象に実施しているが、今後、中学生などに再度検査する考えは。

A 小学4年生の検査結果を踏まえた上で、再度中学2年生の時と、成人になる頃の合計3回実施することで成果が見られるとの意見もあるので、中学生時期の検査実施に向け、今後も協議を重ねていきたいと考えています。



委員構成

【委員長】	前川 昌也
【副委員長】	植原 泰
【委 員】	東原 章 鳥飼 年幸
	出田 泰三 茨 智仁
	若杉 輝久 吉田 耕一



9月定例会の概要

9月定例会では、初日に市長から条例制定案1件、条例一部改正案2件、補正予算案3件、市立病院事業剩余金の処分に関する議案1件、他議案5件、平成29年度の決算認定案12件の計24件が提案され、決算認定を除く12議案について各常任委員会での審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、任期満了に伴う坂出市選挙管理委員及び補充員の選挙を行いました。

(審議結果は11ページをご覧ください。)



中小企業・小規模企業の力で 坂出を元気に!!

坂出市中小企業・小規模企業振興基本条例を制定

中小企業・小規模企業は多様な事業の分野において特色ある事業活動を行い、本市経済の活性化及び雇用の確保に大きく貢献していることから、本市経済の持続的発展及び市民生活の向上を図ることを目的として、中小企業・小規模企業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための条例を定めます。

条例には、大企業、金融機関、市民等の役割のほか、本市独自の項目として、中小企業・小規模企業と連携し、市内の学校に通学する児童及び生徒へ職業に関する体験または共同活動の機会の提供等に努めることを市の責務としています。

中小企業・小規模企業振興会議の設置

中小企業・小規模企業の振興に関する事項について協議するため、中小企業・小規模企業振興会議を設置し、市は振興会議の意見を参考にしながら、振興施策を実施します。

振興会議は、中小企業・小規模企業の振興に関して識見を有する者のうちから、市長が委嘱した15人以内の委員で組織されます。



補正概要

災害費復旧費

坂出環境センター復旧工事 500万円

7月豪雨で被災した坂出環境センター敷地内の法面復旧工事

教育費

ナカンダ浜等周辺整備工事 500万円

旧海の家等解体除却工事及び駐車場整備工事

土木費

道路新設改良及び舗装 3,000万円

平成29年8月の台風で被災した、市道大屋富坂出線にある無名橋の上部工

一般質問

出田 泰三 議員
市民の声



**さかいで大橋まつりについて
全市民対象のアンケート調査
の実施を**

A さかいで大橋まつりは、熱中症・太鼓台のかき手不足・多様性の観点から全市民対象のアンケートを実施し見直すべきだと思うが。

(建設経済部長)

質問の主な項目
・障がい者の雇用の水増し問題
について
・市民の安全・安心について

授乳室等の充実を

Q 子育て支援充実のため、授乳室やおむつ交換所等を記載したミニ冊子を作成してはどうか。

A 子育て支援には、乳幼児を連れたご家族が安心して外出できる生活環境の整備は不可欠です。

A 行政と協働して子育て家庭にやさしいまちづくりを推進することに賛同いただける施設において、おむつ替えができる設備・授乳の場・子ども用トイレ・妊婦用駐車場のうち2つ以上の設備が整っており、その設備を無料で利用できる施設については、香川県が「かがわこどもの駅」として認定し、県のホームページに施設の名称・住所・電話番号・利用時間・地図等が公開されています。本市では37施設が認定されており、これらの施設については、県のホームページを活用した情報提供に努め、利用者の利便性向上を図っています。

(健康福祉部長)



齊藤 義明 議員
市民の声



**避難勧告に従わない人が多い
理由とその対策は**

Q 避難勧告等が発令されても関わらず、避難しない人が多い要因とその対策は。

A 避難しない理由は、人それぞれであるとは思いますが、中央防災会議で示された資料によると、「自分が被害を受けるとは思わなかつた」「夜間・大雨の中、避難を選択する方が危険と判断した」などの回答内容を示す調査結果がありました。

また、避難勧告等に従つてもうらうための方策については、自らの命を守るために避難行動の重要性を粘り強く周知するとともに、住民が適時的確な判断ができるよう、どのようなときにはどのよな避難行動をとるべきかについて、日頃から周知徹底を図るための取り組みが重要であると考えています。

(総務部長)

がん検診及び特定健診の受診率を目標に近づけるための方策は

Q 「坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げてある、がん検診及び特定健診受診率の目標値と実際の受診率には大きな差があるが、目標達成のための方策は。

A 40歳代の特定健診対象者内、過去3年間未受診の方へ、電話で受診勧奨を行っています。また、50歳代で過去3年間特定健診を未受診かつ過去1年間医療機関を受診していない方へ、保健師が訪問し、特定健診及びがん検診の受診勧奨を行いました。

今後も、検診（健診）の必要性についてより分かりやすく周知するとともに、検診（健診）期間の延長についても検討するなど、より受診やすい体制づくりを構築していくたいと考えています。

(健康福祉部長)



質問の主な項目
・香川県広域水道企業団について
・市議会議員選挙公報について

野角 満昭 議員
日本共産党議員会



行政が主導する
金山ニュータウンの土砂災害
防止策は

今後の学校給食の実施方法について
ついては、広く市民の意見を
聴取すべきでは

A 当該区域は民有地であることをから、基本的には民有地内の対策については、原則、土地の所有者や管理者が行うべきものとされています。しかし、各種の事業手法や制度等を活用することなどにより、実施が可能な対策について検討していくと考えてあります。

(総務部長)



Q 7月の豪雨で発生した金山ニュータウンの土砂災害について、地元自治会から二度にわたり、市独自の対策を要請する要望書が提出されているが、本市の対応は。

質問の
主な項目
・介護保険制度について
・地域改善向け改良住宅の公募について

A 自校調理方式か給食センター方式かの選択においては、広く市民の意見を聴取することは非常に大切だと思います。本市の給食調理については、さまざまな角度から検討する中で、自校調理方式の継続は非常に困難ですが。よって、現実的な共同調理場の基本計画等を決定する段階で、その内容をより良いものとするため、府内のみならず幅広い皆様の声を聞く機会を設けることが大切だと考えています。

(教育部長)

Q 保護者や市民の声を十分に聴取できていない状況の下で、共同調理場方式が選択されているようを感じる。きちんと意見聴取を行い、デメリットや懸念材料を払拭した上で結論を出すべきと考えるが、今後の方策は。

村井 孝彦 議員
市民グループ未来の会



大阪北部地震を受けての
安全点検について

Q 通学路全体の安全確保のための危険箇所の点検・把握について、現時点でのような考え方で実施しているのか。

A 通学路の安全対策として関係機関が連携し、市内の小学校を10グループに分けて、順次、通学路統点検を実施しています。学校からの重点点検箇所を中心に関係者合同で現況調査を実施し、危険箇所を的確に把握し対策を協議した上で、整備・改善等に努め、適切かつスピーディーな安全対策が進められています。判明した危険箇所については、保護者等に周知し、通学路の変更を求めるなど対策を講じています。さらに、登下校時の安全確保を図るために、各小学校で「通学路における緊急合同点検」を実施しています。

(教育長)

質問の
主な項目
・人口減少問題について
・健幸のまちづくりについて
・学校給食について

A 行政の枠組みは、住民生活に直結する問題であり、市町村を基礎的な行政主体として独自性を重んじる地方自治制度の本旨にも関わるものと考えており、「圏域」の法制化については、唐突な議論であり、地方創生の取り組みに水を差すものであるとも感じています。本格的な人口減少・少子高齢化を迎える中、地方自治の望ましい形を検討する必要性については理解できますが、政府においては、当事者である地方の意見を十分に聞きながら、慎重に時間をかけて議論を進めていただきたいと考えています。

(市長)

「連携中枢都市圏」
主体のまちづくりについて

Q 7月初めに政府方針として出された「圏域」単位のまちづくりを促進するための法整備について市長の見解は。

一般質問

茨 智仁 議員
新政会



警察・教育委員会・学校との連携体制など不審者対策について

児童生徒の安心・安全について、警察・教育委員会・学校との連携体制などの不審者対策は。

A 本市では三者の連携のもと不審者についての情報を共有し、必要な場合は保護者にも周知するなどの対応をしていましたが、文部科学省で「登下校防犯プラン」が取りまとめられたことに伴い、見直しを図り、警察と各小学校との間で連絡担当者を決め、通学路に重大な危険が及ぶ恐れのある事案が発生し、緊急の措置を必要とする場合、授業日はもとより夜間及び休日等にも情報が直接提供されることになりました。また、同時に教育委員会にも連絡が入る仕組みとなっています。

(教育長)

質問の主な項目

・消防団員の確保策について

認知症を正しく理解するための本市の取り組みについて

Q 認知症の方が住み慣れたまちで生活していく上で、「地域」の方が正しく認知症を理解し、支援するための本市の取り組みは。

A 地域の方が認知症について正しく理解し、適切に接することが出来るよう「認知症サポート養成講座」の開催や、専門職に相談したり、情報交換の場として利用できる「さかいでオレンジかふえ」を市内7箇所に開設しています。また、高齢者を見守り、支援する相談員「坂出ほつとふれんず」が定期的に訪問し相談に応じるなど見守り支援活動も行っています。

このようなさまざまな取り組みを行うことで、認知症の方やその家族を地域で支える仕組みをさらに広めていきたいと考えています。

また、認知症に関するさまざまな情報を取りまとめたパンフレット「さかいで認知症ほつとナビ」を作成し、有効活用するなど、広く市民の皆さんに認知症について理解していただくために取り組んでいます。(健康福祉部長)

植原 泰 議員
市民と共に



新たなコミュニティー交通の研究を

Q 他市では、公共交通空白地域を補うため、住民が主体となり、バスを無償で運行している。本市も研究すべきでは。

A 愛知県瀬戸市の菱野団地では、地域主導型住民バスとして、団地内の無償運行を開始しています。自主運行は、地域住民が運行の管理を行い、運転手を確保するなどの自主的な取り組みが必要となります。地域の状況に応じた運行ルートや運行時刻を地域独自で設定できるなど、交通利便性だけではなく地域コミュニティー強化につながるなどのメリットも報告されています。

本市においても、人口減少や高齢化社会を迎え、地域の状況が大きく変わっていくことが予想されるこれから、地域住民の足を確保するための公共交通のあり方について、坂出市地域公共交通活性化協議会で検討を深めるよう提案しています。(建設経済部長)



イオン坂出店内に無人図書館等を設置してみては

Q イオン坂出店では2階の一階に学生用の勉強スペースを設けてくれているが、参考書等を中心とした無人図書館を設置するなど、学生が気軽に利用できるような施策を考えてみては。

A ご提案の活用方法については、若者が日常的に集うことにより、中央公民館の利用促進のみならず、周辺のにぎわい創出にも一定の効果が期待できるものと思います。一方で、実施に向けては、施設所有者である民間事業者の意向の確認や学生のニーズの把握、費用対効果の検討など、さまざまな課題があることから、貴重な意見として、今後の参考とします。(総務部長)

脇 芳美 議員
新緑



小・中学生への熱中症対策は

空き家に付随する農地の取得に限り、下限面積要件を緩和しては

Q 今夏は、全国各地において、異常で危険な災害レベルの暑さが続いたが、小・中学校での熱中症対策はどうのようにしていったのか。

Q 農地を取得する際には農地法第3条第2項第5号の規定により、下限面積要件が設けられている。

A 昨今、空き家に付隨する農地の取得に限り、下限面積要件を緩和する自治体が全国的に増えているが、本市の対応は。

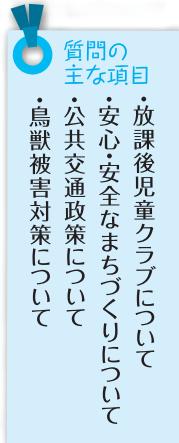
Q 本年5月に熱中アラームを各幼稚園・小・中学校に配布し、危険を知らせるアラーム等が鳴る注意喚起を行うとともに、場合によつては、屋外活動の中止等の判断をしています。

特に中学校の運動部活動については、部活動前の健康チェックを行い、長時間の練習を避け、定期的な休憩時間とこまめな水分補給をするようにしています。また、複数の指導者で監視し、熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、保健室等で水分・塩分の補給、医療機関への搬送等適切な応急手当を行っています。

今後とも児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、各学校と連携し、熱中症予防に努めていきます。

(農業委員会事務局長)

(教育長)



- ・放課後児童クラブについて
- ・安心・安全なまちづくりについて
- ・公共交通政策について
- ・鳥獣被害対策について



東原 章 議員
市民グループ未来の会



他市との差別化を図ったPR戦略は

Q 本市のPRを続けていく中で、これからは県内の他市町と比べ、いかに特別感を出し、差別化を図ついくかが重要となるが、どの年齢層を対象にしていくかなどの戦略はあるのか。

Q 東京や大阪での移住フェアにおいて、相談に来られた方からお聞きすると、相談に来られた方が充実している点について、本市に対し好意的な反応が得られています。なお、ターゲットとする年齢層については、実施する事業によりさまざまです。

A 東京や大阪での移住フェアにおいて、斜面崩壊を防ぐ法面の設置や、斜面崩壊を防ぐ法面対策などが計画され、早期の完成を目指していると聞いています。本市としても、当該道路は市内と王越町を結ぶ重要な路線であり、快適な市民生活を支える根幹的な社会資本であることから、早期の本復旧に努めていただき、抜本的な整備手法も念頭に、今後、検討していくだけのよう、県に要望していると考へています。

本市としては、働くまちとしての強みや、さまざまな魅力を生かしつつ、より多くの皆様に、住みたい、子育てしたいと思つていただけるまちの実現に向け、引き続き、各種施策を総合的に展開し、人口減少の克服と地域活力の向上に取り組んでいきます。

(建設経済部長)



高松王越坂出線（県道16号線）の早期復旧を

防災訓練を実施しました。



また、引き続き、坂出市議会災害対策行動マニュアルに沿った初期対応等訓練を実施しました。議員は自身の安否・居場所及び各地域の被災状況等を事務局へ連絡する、議長により災害対策会議を設置する、災害対策会議の活動を実践するなど、実際の災害発生を想定し、それぞれの動きを確認しました。

市危機監理室長からは、災害対策会議の講評もいただきました。災害時には多数の情報が寄せられるため、情報のトリアージが必要であり、市災害対策本部とも情報を共有し、人命に関わることを最優先として、情報の優先順位を決めて対応していく必要があること。また、いつ、誰が見てもわかるような情報の取りまとめ・掲示方法が大事であるとの話がありました。

身を守る訓練に加え、情報伝達訓練など、安否等の連絡を行うという基本を全員で共通認識として持ち、目的を持って訓練を行う必要性を再認識しました。

※(注1) 特定の基準に従い、優先順位を決めること。



昨年に引き続き、9月定例会最終日に防災訓練を実施しました。

議会の本会議中の地震発生を想定し、緊急地震速報が発信され、出席者は身を守る行動をとり、安全な場所へ避難するという内容で行いました。



委員会

Report

付託議案
6件

教育民生 委員会

全議案全会一致で可決



府中湖カヌー競技場トレーニングセンターを整備します。

現在のカヌー研修センターは、会議室等を増設したり、スロープを設置するなど改修をします。

また、新たにトレーニングセンターを新築します。トレーニング室・会議室・更衣室・シャワー室・男女及び多機能便所・外部便所など、今後、開催される大会や水のフェスティバルなど大勢の方が参加される行事にも対応できるように整備します。



坂出北フルインター建設促進特別委員会

坂出北インターチェンジ整備の進捗について報告を受けました。

平成29年7月、坂出北インターチェンジの整備事業が国に採択されたことを受け、本州四国連絡高速道路株式会社において昨年11月より地形測量等を実施しており、今年度は、構造物等の概略設計及び地質調査を実施し、2019年度より工事着手、2024年完成の予定との説明を受けました。

坂出北インターチェンジ整備予定表										
	1年目 (2017年度)		2年目 (2018年度)		3年目 (2019年度)		4年目 (2020年度)		5年目 (2021年度)	
	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10
IC整備										
測量調査	測量									
設計		調査								
用地取得			調査							
工事				概略設計						
					実施設計					
						構造物詳細設計				
							土工・橋梁下			
								橋梁上部		
									用地	
										ランプ橋梁・土工・舗装等工事

付託議案
4件

総務消防 委員会

全議案全会一致で可決



消防ポンプ自動車及び水槽車を更新します。

平成30年度消防力整備事業として、老朽化した消防ポンプ自動車2台と水槽車1台を更新します。

Q 消防車両をどのように更新しているのか。

A 年次計画を立てて整備していますが、車両の使用頻度に応じて更新時期を早めるなど、柔軟に対応しています。



付託議案
4件

市民建設 委員会

全議案全会一致で可決



7月の豪雨で被災した道路等の復旧に要する費用を補正します。

土砂撤去等委託料…300万円

江尻町の土砂崩れで、道路上への2次被害を防止するための土砂撤去委託料

道路復旧工事…1,000万円

法面が崩落した市道府中ダム東2号線と与島町生活道路の復旧工事

ポンプ場遊水池等浚渫業務委託料…500万円

三七ポンプ場遊水池の浚渫業務委託料

京町住宅地区改修工事…300万円

京町団地屋上防水改修工事

平成 30 年

9月定例会の審議結果

議員数=20名 表決参加議員数=19名
※議長は表決には加わりません。

全議員が賛成した議案
(可決・継続審査・同意)

市長提出議案

予 算

平成30年度坂出市一般会計補正予算(案)(第3号)など 3件

条 例

坂出市中小企業・小規模企業振興基本条例制定など 3件

決 算

平成29年度坂出市一般会計決算認定など 12件

その他の議案

工事の請負契約についてなど 5件
平成29年度坂出市立病院事業剰余金の処分について

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【議案内容等・審議結果】を
ご覧ください。

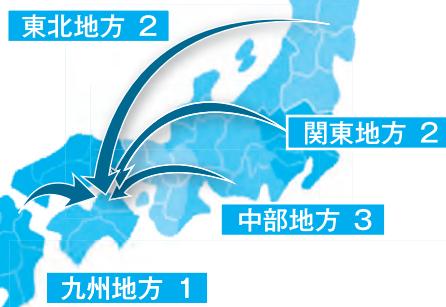
9月定例会で選挙した人事案件【敬称略】

◎坂出市選挙管理委員及び補充員

委 員…… 三好 美也子 松本 仁孝 横井 敬仁 河井 利夫
補充員…… 多田羅 久江 國時 忠能 真部 幸代 木村 泰規

全国から坂出に!!

本市の施策を調査・研究するために、全国各地の
議会が本市を訪れています。



7月1日から9月30日に来庁された8議会を 掲載しています。

- 7月 5日 宮城県多賀城市 認知症初期集中支援事業について
9日 山形県酒田市 さかいでブランド認定制度について
11日 三重県亀山市 都市計画制度について
17日 千葉県富里市・議会報告会について
千葉県四街道市
- 8月 7日 愛知県春日井市 市民後見人推進事業について
7日 福岡県久留米市 議会だよりについて
8日 静岡県長泉町 市民後見人推進事業について





再 さかいで発見! vol.5 「讃岐の名工久保田家と坂出」

久保田家は讃岐（高松市香西本町）が誇る代々大工を続けてきた家系です。手がけてきた建物は神社仏閣を中心に学校などの公共建築物、地域は香川・岡山を中心に近畿・九州遠くは北海道にまで及び、江戸時代中期から昭和30年代に至るまでの19代にわたってたどることができます。

市内でも旧坂出町・林田・王越・松山の病院、坂出町・松山・加茂・府中・林田の尋常（高等）小学校、八坂神社・総社神社・高屋神社・久米神社・白峯寺鐘楼、その他公民館、個人宅など多くの建物の新築・改修の設計建設に携わりました。

讃岐に全国的に有名な名工が存在し、市内にも多くの足跡が残されています。惜しまらくはその多くが現存していないことです。

高松市歴史資料館に図面・下絵などが保存されています。

※参考文献 神奈川大学建築士研究室発行「近代をつくった大工棟梁」



旧北海道庁立図書館(大正15年) 出典「国立国会図書館」

現在



菓子製造業「北菓樓」札幌本館



八坂神社本殿[林田町](明治2年)
現存



旧和歌山県会(明治30年) 大正2~6年頃修繕に携わる
重要文化財 平成24~27年度建設当時の姿に復元



白峯寺鐘楼(明治40年)
現存

編集後記

小津安二郎監督の不朽の名作「東京物語」を観て驚いたことがある。年老いた母が東京見物から帰った直後に急死。葬儀にかけつけた東京に住む長女が「大往生よ」と言うのだが、劇中の母親の年齢は68歳…後にスマホで検索して腑に落ちた。映画が公開された昭和28年(1953)の女性の平均寿命は65.7歳で、昨年の女性の平均寿命より21歳余りも短いのだ。

今や人生100歳時代に突入したとまで言われる超高齢化社会。年金を始めとする社会保障制度や膨らみ続ける財政赤字の削減等、劇的に変化する社会構造や世界情勢に政治が全く追いついていない感がある。国だけではない、地方も同じだ。これまで当たり前だと思い込んでいた常識を疑い、新たな「解」を市民と共に模索し、速やかに行動に移す。多様な価値観を持つ市民の厳しい視線が、行政、そして議会に注がれていることを改めて忘れてはならないと思う。

(出田)

広報広聴委員会 委員長……植原 泰 副委員長……若杉輝久
委員……東原 草 鳥飼年幸 村井孝彦
出田泰三 松成国宏 楠井常夫

表紙の写真

上:「おさななじみ」

坂出商業高等学校 1年 清水 咲良さん

市内の商店街で仲良く遊んでいた幼なじみ3人。みんな、それぞれの個性があって、とても楽しく撮影できました。これから先も仲良く自慢の幼なじみでいて欲しいと思いました。

下:「祭りの合図」

坂出商業高等学校 2年 大中 陽さん

坂出市のお祭りを撮らせていただきました。お祭りのオープニングを飾るのにふさわしく、力強さと真剣さがとても印象的でした。最初から最後まで気を抜くことなく打ち続けるその姿に惹かれシャッターを切りました。

次回開催は…

12月定例会を12月上旬に開催予定です。



HP QRコード